



『消費者講座』＆『手話カフェ』開催

耳が聞こえない方対象の消費者講座と手話カフェを開催しました。コロナ禍での生活が続く中、久々に会う仲間が「久しぶり！元気？」「ねえ？病院の薬って残ったらどうしてる？」などなど近況や疑問を楽しくお話しました。



水田家住宅で久々の落語会大盛況

10月23日、国登録有形文化財水田家にて、「横尾まちかど落語会」が開かれました。別所孝さんによる浪曲を曲師・虹友美さんの三味線の伴奏で披露され、その後、落語家・桂佐ん吉さんによる落語が2席ありました。コロナ禍のエピソードや、健康に関する話題を織り交ぜながら話は繰り広げられ、会場内は笑いに包まれました。



宇仁っ子ふるさとガイド隊 地元を紹介

宇仁小4年生15人が、八王子神社の宮司や宇仁郷まちづくり協議会の方たちに、学校の歴史や周辺の古墳群などの歴史を教してもらい、当日は保護者達を前に分かりやすくクイズ形式で発表しました。丸岡愛さんは「緊張したけどうまく説明できました。楽しかったです」と話しました。



北条高生 飯盛野疏水の役割小学生に伝える

加古川西部土地改良区主催で市内の小学校4年生を対象に農業用水に関わる施設見学を行い、北条高校生が自作の模型を使いながら飯盛野疏水の役割や仕組みを説明しました。北条高校の三船紗楽さんは、「わかりやすく、記憶に残るよう意識しました」と話してくれました。



九会小 神戸大学の学生と柿の収穫体験

九会小学校3年生44人が、神戸大学大学院農学研究科付属食資源教育研究センターの協力で「柿の収穫体験」を行いました。同大農学部3年生と一緒に渋柿を収穫後、二酸化炭素に浸す装置で渋みを取る方法などを学びました。収穫した柿は10月27、28日に学校給食に提供されました。



平和への願いを込めて 鶉野平和祈念祭

鶉野飛行場跡にある平和祈念碑前で、平和祈念祭が行われました（主催：第24回平和祈念祭実行委員）。当日は天候にも恵まれ、地元住民や遺族関係者ら80名が参加。献花や遺書の朗読などが行われ、戦没者を慰霊するとともに平和への祈りをささげました。



「お困りごと」解決！買いもん行こカー

買い物が困難な高齢者らのために、コープこうべが無料送迎車「買いもん行こカー」の運行を始めました。利用者のひとは「買い物は自分でした。楽しみが一つ増えました」と笑顔を見せました。登録希望者は、市長寿介護課（42-8728）または社会福祉協議会（43-1281）まで。



人権フィールドワークバスツアー

歴史のなかの人権文化を学ぶため、10月14日に京都の人権ゆかりの地を訪問する人権フィールドワークを行いました。参加者18名は、耳塚・豊国神社・方広寺などを訪れ、「耳塚では人間の残酷さ、そして手紙をくださった子どもたちの優しさに胸が熱くなりました」などの声があり、人権について学ぶ良い機会となりました。



北本ファーム 賀茂小でにんにく植え付け

賀茂小学校2年生12人が、北本ファームの北本恵一さん指導のもと、同校農園で「ハリマ王にんにく」の植え付け体験をしました。小川詩音さんは「植えるのが難しいと思っていたけどうまく植えられたので元気に育ってほしい」と笑顔で話しました。



3年ぶり じば産物産展開催

10月22日、加西商工会議所主催「第17回じば産物産展」が県立フラワーセンターで開催されました。当日は天気に恵まれ、家族連れら約4,500人が来場。地場産品の展示販売や飲食コーナー、原田伸郎トーク&ライブや北条高校吹奏楽部などのステージ、ドローンの操縦体験など、訪れた参加者は思い思いに多彩な催しを楽しみました。



3年ぶり 加西市健康福祉まつり開催

10月16日に加西市健康福祉まつりが開催され、子どもたちは、鬼ごっこやニンテンドースイッチで夢中で遊びました。一方、大人は、骨密度測定などの健康チェックに行列をつくっていました。親子で参加した方は、「子供が興味を持って楽しんでくれてよかったです」と話してくれました。



北条鉄道まつり各駅でイベント多彩に

10月16日に北条鉄道の各駅で開催され、絵紙教室や記念グッズの販売、メイン会場の播磨横田駅前ではミニSLの乗車体験などがあり、家族連れらで盛り上がりを見せました。大村勇人君は「列車が大好き。列車に乗れて楽しかった！また乗りたい」と笑顔で話しました。

